

9/4 (月) セールスラボ株式会社 町へ20万円の寄附



セールスラボ株式会社（増山鉄也代表取締役、写真左）より、町に20万円が寄附されました。贈呈式の中で増山代表取締役は「茨城町の教育振興に役立ててもらいたい。」と寄附に込めた思いを語りました。小林宣夫町長は「多大な心遣いに感謝申し上げる。図書館の図書購入費に活用させていただき、町民の読書推進に役立てたい。」と謝辞を述べました。

9/19 (火) 関東鉄道創立100周年記念事業 小学1年生へキーホルダー型反射材寄贈



矢口教育長 鈴木取締役 平根交通官

関東鉄道株式会社（松上英一郎取締役社長）創立100周年事業の一環として、茨城県警察と連携して地域の将来を担う子どもたちの安全を守るため、町内の小学1年生に交通安全グッズの反射材 240 個が寄贈されました。鉄道・バスのキャラクターがデザインされた反射材はキーホルダー型になっており、ランドセルに吊るしやすくなっています。また、裏面には二次元バーコードが印字されており、スマートフォン等で読み取ると警察や消防などの連絡先が一覧で掲載されているWEBサイトにアクセスできます。

8/29 (火) 宇野建設工業株式会社 茨城県道路ボランティア団体 知事表彰



道路ボランティア団体に対する茨城県知事表彰伝達式が水戸土木事務所にて開催され、宇野建設工業株式会社（宇野健司代表取締役、写真左）が受賞しました。道路ボランティア団体は、県が管理する道路の美化・清掃等に努め、地域にふさわしい道づくりを進めることを目的とし、宇野建設工業株式会社では令和2年より活動しています。表彰伝達式に参加した宇野さんは、「今後も道路の美化に努めていきたい。」と挨拶しました。

9/6 (水) おいしいぶどうが勢揃い！ ぶどう品種検討会と試食会を開催



町内のぶどう生産者9人で組織される茨城町ぶどう生産研究会（郡司匡利会長）が小林町長を来賓に迎え、町総合福祉センターゆうゆう館で品種検討会を開催しました。「巨峰」をはじめ、人気の「シャインマスカット」など14品種、合計31点のぶどうが持ち寄られ、重さ・色付き・粒の数・色合い・味などについて、より高品質なぶどうの生産に向けて生産者間で活発に意見が交わされました。郡司会長は「久しぶりの開催に大変刺激となった。今までのように毎年開催して研鑽を積んでいきたい。」と意気込みを語りました。その後、ゆうゆう館 1階エントランスでは試食会が実施され、来場者からは「とても甘くておいしい。ぜひ購入したい。」と大変好評でした。

8/24 (木) 茨城町建設業協会 「災害時における応急対策活動に関する協定」を締結



町は、茨城町建設業協会（木村晃会長、写真左）と、「災害時における応急対策活動に関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時における道路の陥没や土砂の流入などに対し、迅速な応急復旧や応急対策を実施する内容となっています。同協会は、これまで大雨による災害時において、土砂の撤去や排水作業の応急対応により、いち早い現況復旧に貢献していただきましたが、今回、改めて町と同協会が協定を結ぶことで、より連携を密にし、災害に強いまちづくりに努めていきます。

8/23 (水) 自然豊かな涸沼や町内の工場を知る 「夏休み体験教室」を開催



7/31 (月) シルバーリハビリ体操指導士 永年功績者として4名表彰



シルバーリハビリ体操指導士養成20周年記念大会がザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールで開催されました。大会では、平成19年度までに指導士となり、現在も活動している指導士が永年功績者として表彰され、町からは京極志津子さん、川上節子さん、菅谷敏子さん、坂場松代さんの4人がその荣誉に浴しました。町内で一番長く活動している京極さんは表彰を受け、「大変光栄なことで、健康第一で続けられました。今後も続けていきたいです。」と語りました。

町内の小学生が茨城町内で様々な体験をする「夏休み体験教室」が開催されました。参加者の児童30人は、広浦漁港でのいかだ乗り体験や「ひろうら直売所あいあい」でのピザづくり体験、工場見学を楽しみました。児童たちは、ひろうら田舎暮らし体験推進協議会の清水勝利会長からラムサール条約の話や、しじみ漁・うなぎ漁の方法などの説明を受け、涸沼がどのような場所かを学びました。その後、いかだ乗り挑戦。同漁港を漕ぎ出て大杉神社まで進む予定でしたが、風により湖面が波立っていたため、広浦漁港内で体験しました。また、ピザづくりではピザ生地自由にトッピングし、オリジナルのピザを作りました。その後は、株式会社あけぼの印刷社茨城町工場（奥谷）に移動し、工場見学を行いました。クイズ形式の説明に対して児童たちは積極的に回答しており、印刷される様子や紙をカットする様子を間近で見ることができて、とても興奮した様子でした。参加した児童からは、「いかだを漕ぐのが大変だったけど、すごく楽しかった。」「工場見学で普段見ることができない機械を見ることができてよかった。」「町内には楽しい場所があることがわかった。」「涸沼を綺麗にする努力をしたい。」などの声が挙がりました。